

世界銀行債券ファンド（毎月分配型）

愛称：ワールドサポーター

2017年6月～2018年5月の運用状況と今後の見通しについて

平素は弊社投資信託に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは相対的に利回りの高い、新興国通貨建ての世界銀行債券に投資を行なうファンドです。高い金利収入と為替の値上がり益の獲得をめざしつつ、信用力の高い世界銀行債券に投資を行なうことで、信用リスクの低減を図ります。また、新興国通貨は為替変動リスクが先進国通貨と比較して大きくなる傾向にあるため、幅広く分散投資を行ない、為替変動リスクの低減をめざします。

今回、2017年6月から2018年5月までの当ファンドの運用状況と今後の見通しについてのレポートを作成いたしましたので、ご一読いただければ幸いです。

なお、2018年5月末時点では、以下の国の通貨建ての世界銀行債券に投資を行なっています。

投資通貨の国



※上記の投資通貨の国は2018年5月末時点のものであり、将来変更される場合があります。

運用概況 (2017年6月～2018年5月)

World
Supporter

- 2016年から続いた新興国債券市場の上昇相場は、欧米を中心とした世界経済の拡大や緩やかな金利上昇に支えられ、2017年を通じて継続しました。しかし2018年に入ると、米国の利上げペースが加速するとの懸念から米長期金利が大幅に上昇し、新興国市場の重石となりました。
- 新興国為替市場は、各国の状況に応じてまちまちの動きとなりました。経常赤字の拡大や政治リスクの高まりが意識されたトルコリラやブラジルレアルは期間を通じて下落基調となり、パフォーマンスの足枷となりました。その他の通貨は2017年を通しては概ね底堅い推移となったものの、2018年に入ると、米長期金利の一段の上昇や米国の保護主義的な政策に対する警戒感などから円高が進行し、総じて下落傾向となりました。
- そうしたことから当ファンドの基準価額は横ばいとなり、当該期間における騰落率は-0.15%(税引前分配金再投資ベース)となりました。

基準価額と純資産総額の推移 (2007年6月21日(設定日)～2018年5月31日)



	2017年5月末	2018年5月末		2017年5月末～ 2018年5月末
基準価額	3,022円	2,784円	騰落率	-0.15%

※ 基準価額は税引前分配金控除後の1万口当たりの値です。
 ※ 騰落率は税引前分配金再投資ベースの値をもとに算出しています。

※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。
 ※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

当資料は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンドクラスA」の運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の見方あるいは考え方を記載したものであり、運用方針は変更される場合があります。また、将来の市場環境の変動や運用成果等を保証するものではありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

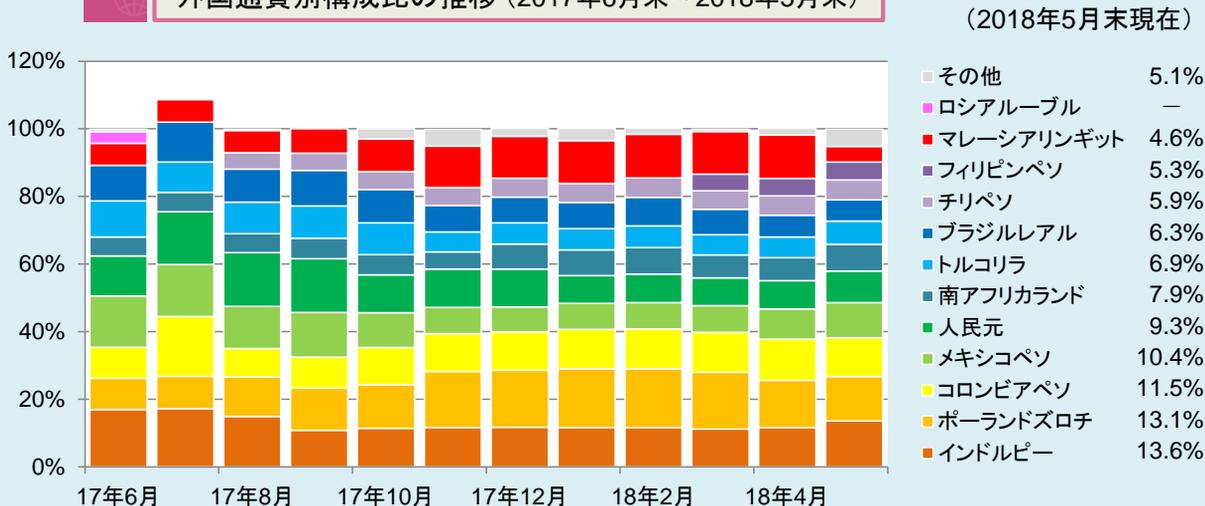
当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

投資通貨の推移と組入れの状況 (2017年6月~2018年5月)

World
Supporter

- 当ファンドでは、当該期間において、**インドルピー**や**ポーランドズロチ**、**コロンビアペソ**などの組入比率を上位に保ちました。一方、2017年秋にかけて、**ブラジルリアル**、**メキシコペソ**、**トルコリラ**といった、米国の金融政策に敏感な通貨の組入比率を引き下げました。また、**ロシアルーブル**については、米大統領選挙への介入疑惑に伴う金融制裁の可能性などから、2017年6月から組入比率を引き下げ、7月には全て売却しました。
- 2017年6月には、中国の中央銀行に通貨の上昇を容認する姿勢がみられたことから、**人民元**の組入比率を引き上げました。また、金融市場の対外開放が進み、人民元建ての株式や債券が主要指数に組入れられる運びとなったことも、中国本土市場への資金流入を促し、通貨の上昇材料になると判断しました。
- 8月以降、ユーロ圏経済の回復に楽観的であったことから、その恩恵を享受できるとみられる**ポーランドズロチ**の組入比率を引き上げました。さらに、力強い消費や設備投資の増加、賃金上昇を伴う堅調な景気などが通貨の上昇を後押しすると判断しました。
- **マレーシア**は力強い景気回復を遂げていたものの、2016年末に実施された為替管理規制への懸念から、組入を限定的なものとしていました。しかしそうした懸念が和らいだことから、2017年10月以降は通貨**リンギット**の組入比率を引き上げました。その後2018年に入ると、5月の総選挙を前に同国への不透明感が高まったことから、足元では同通貨の比率を大きく引き下げています。
- 2018年3月には、**フィリピンペソ**を新たに組入れました。同通貨は米国の金融政策と相関が低いことから、米国の金利上昇のリスクを軽減させることが期待できます。また、5月以降、力強い内需や物価上昇を背景に、中央銀行が利上げに舵を切ったことも、通貨の支援材料になると見込まれます。

外国通貨別構成比の推移 (2017年6月末~2018年5月末)



※ 上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンドクラスA」の運用会社である、日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからの情報をもとに作成しています。

※ 上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託の通貨別構成比率であり、外国投資信託の純資産総額に対する比率です。

※ その他や端数処理の関係で合計が100%とならない場合があります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ポートフォリオの状況

World
Supporter

主要投資対象ファンド* について

*「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」

【ポートフォリオ特性値】

(2018年5月末現在)

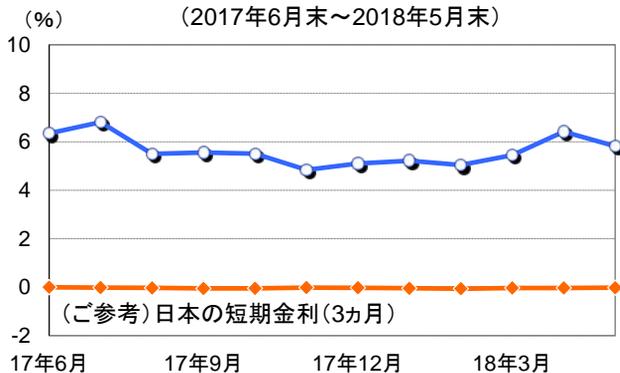
ポートフォリオの最終利回り	5.82%
ポートフォリオの直接利回り	4.04%
ポートフォリオの平均残存年数	1.39年

- ※ 利回りは、個別債券および短期金融資産について加重平均したものです。最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。
- ※ 利回りは将来得られる期待利回りを示すものではありません。

- ※ 上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の運用会社である、日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッドからの情報をもとに作成しています。

【最終利回り推移】

(2017年6月末～2018年5月末)



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

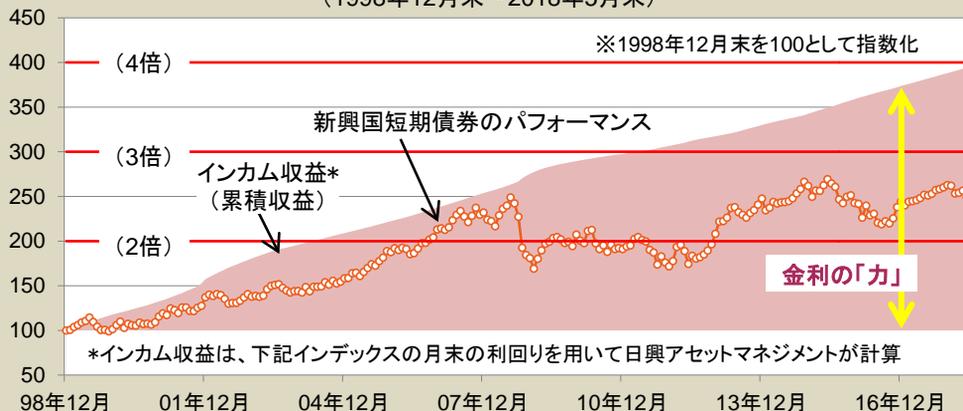
ご参考

投資成果を下支えするインカムの力

- 海外債券投資において、パフォーマンスをけん引する要因の一つに債券のインカム収益が挙げられます。当ファンドが投資対象とする新興国通貨建債券は、**相対的に金利水準が高く、中長期的なインカム収益の積み上げ**が期待できます。
- 当ファンドは高い信用力を持つ世界銀行債券を投資対象とするため、**信用リスクを抑えながら**相対的に高いインカム収益を獲得することが期待できます。また、**金利変動リスクを抑制**するために、短期債券を中心に投資を行ないます。

(ご参考)【新興国短期債券のパフォーマンス(円ベース)】

(1998年12月末～2018年5月末)



※新興国短期債券: JPモルガン・エマージング・ローカル・マーケット・インデックス・プラス(米ドルベース)を円換算

※上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

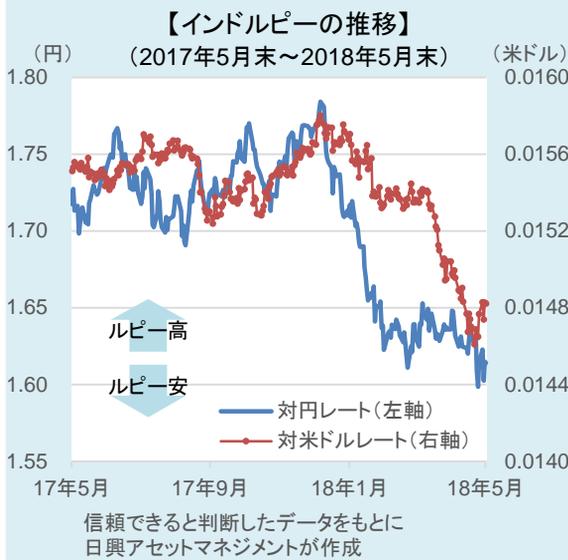
当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

主な投資通貨国の状況について①

World
Supporter

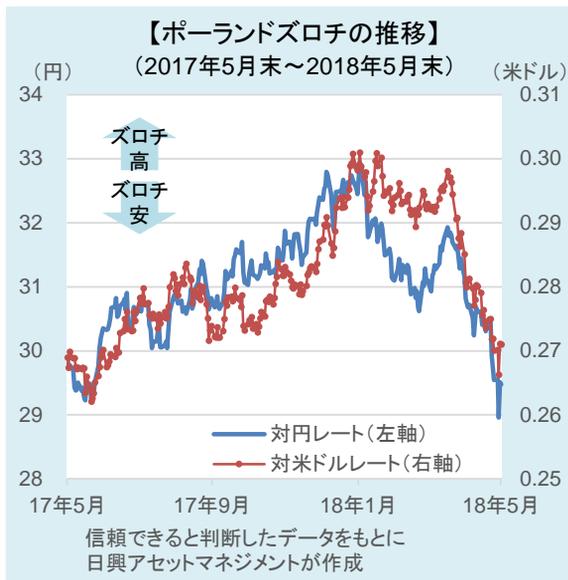
インド：高い成長ポテンシャルが通貨上昇の牽引役になると期待

- 経済の構造改革に加え、人口増加や高等教育の普及などを背景とした労働力の拡大により、同国は長期的に高い成長ポテンシャルを有していると考えます。また、モディ首相による改革の深化にも大きな期待が持てます。
- 2017年7月より、州ごとに異なる間接税を全国で一本化するGST（物品・サービス税）が導入されたことで、ファンダメンタルズの悪化や貿易赤字の拡大など、経済に一時的な停滞がみられました。しかしGSTの導入は、長期的にみて同国経済に利益をもたらすものであると考えます。
- 原油価格の大幅な上昇を受けた経常赤字の拡大や、天候不順による農作物を中心としたインフレ率の上昇といった懸念材料はあるものの、いずれも一時的なリスクであるとみており、同国に対するポジティブな見方に変化はありません。引き続き同国は有望な投資先になると期待されます。



ポーランド：ユーロ圏経済の回復から恩恵を享受

- 同国は金融や貿易などの面でユーロ圏との結びつきが強く、通貨の動きもユーロと高い連動性を持っています。ユーロ圏経済の循環的な景気回復は当面持続するとみており、ポーランド経済はその恩恵を享受できるものと考えられます。
- 同国の金融政策についてもユーロ圏にほぼ連動していることから、ECB（欧州中央銀行）が緩和的な金融政策からの方向転換をめざすにあたり、通貨の上昇が期待されます。
- ただし、足元ではポーランドおよびユーロ圏の経済成長の勢いがやや鈍化しているほか、イタリアやスペインにおける政治リスクの高まりが、ECBによる金融政策の正常化プロセスを遅らせる可能性には注意が必要です。



当資料は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンドクラスA」の運用会社である日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の見方あるいは考え方を記載したものであり、運用方針は変更される場合があります。また、将来の市場環境の変動や運用成果等を保証するものではありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

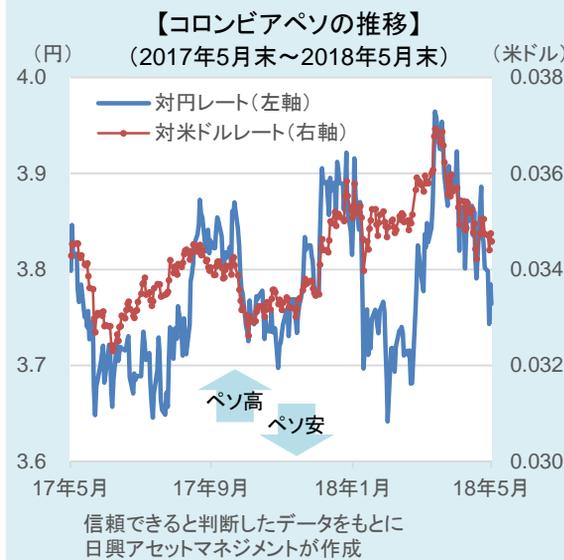
当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

主な投資通貨国の状況について②

World
Supporter

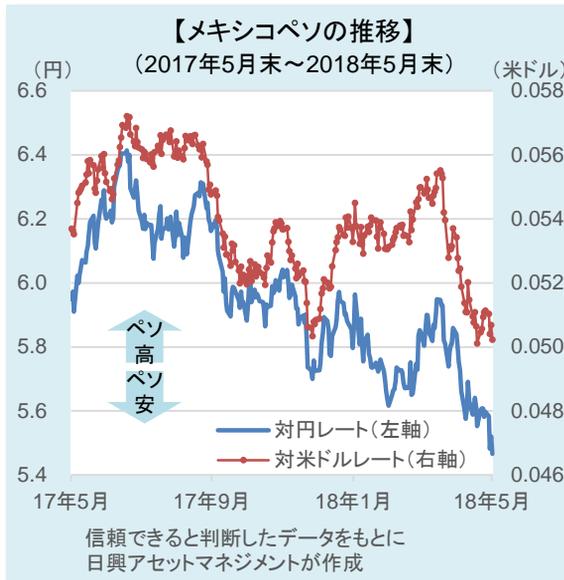
コロンビア：堅調な原油価格が通貨を支え

- 堅調な原油価格を背景に、石油輸出国である同国の通貨は底堅く推移しています。当ファンドでは、**原油価格は引き続き堅調を維持する**とみており、今後もコロンビアの経済や通貨を支えるものと期待されます。
- ただし、今後数カ月の間はOPEC(石油輸出国機構)による減産緩和の動きが原油価格の重石となる可能性があります。しかしその場合でも、**コロンビアに対するポジティブな見方に変化はありません**。
- 今年6月の大統領選挙において、経済再生を優先課題に掲げるドゥケ氏が新たな大統領に選出されました。同氏は**経済改革の推進にあたり、議会から強い支持を得られるもの**と予想され、企業活動への追い風になると期待されます。



メキシコ：先行き不透明感が重石となるものの、高い金利が支援材料に

- トランプ米大統領の就任以降、NAFTA(北米自由貿易協定)を巡る不透明感などから、メキシコペソは大きく下落しています。当ファンドでは、今後数カ月の間にNAFTAの再交渉は合意に達すると予想していますが、NAFTAの存在がなくても、**メキシコの競争力は改善を続ける**とみています。
- 7月初に実施される大統領選挙において、新興左派のロペスオブラドール氏の優勢が報じられており、市場の懸念が高まる場面も見られました。しかし、NAFTA再交渉やエネルギー改革に対する同氏の強硬な態度は、今後、議会の支持を得るために、より穏健なものに変わると見込まれます。
- 貿易交渉や大統領選挙を巡る不透明感などから、今後もメキシコペソの変動性が高まる場面も想定されるものの、引き続き**高い金利水準が通貨の支援材料**になると考えられます。



当資料は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンドクラスA」の運用会社である日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の見方あるいは考え方を記載したものであり、運用方針は変更される場合があります。また、将来の市場環境の変動や運用成果等を保証するものではありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

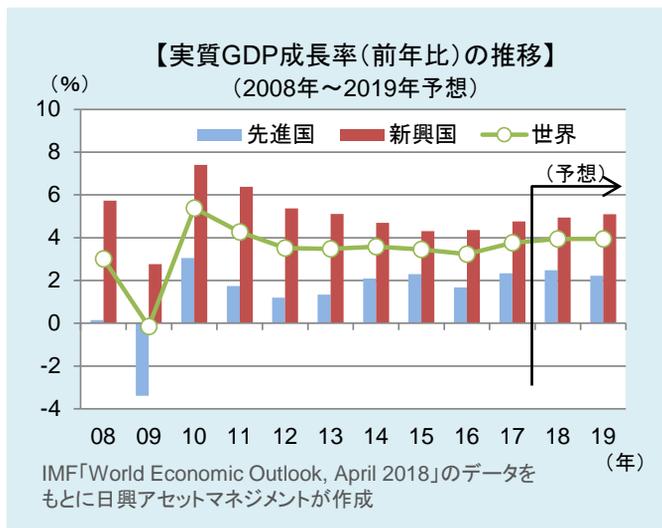
当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称：ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

今後の見通しについて

World
Supporter

新興国の経済成長は引き続き堅調

- 主要先進国における金融政策の正常化は、今後も拙速なペースとはならないとみています。一方、新興国の経済成長は先進国を上回るペースで進行しており、**先進国と新興国の経済成長の差は今後も拡大する**と見込まれます。
- 先進国における金利上昇を受け、多くの新興国では政策金利が引き上げられると見込まれます。その結果、**新興国市場では先進国と比較して高い実質金利が保たれ、今後の通貨の上昇を後押し**すると考えられます。



米利上げは新興国市場の重石となるも、各国固有の状況などを冷静に判断

- 米国の保護主義的な政策は引き続き市場の大きなリスク要因であり、今後も新興国市場の変動性が高まる場面が想定されます。しかし、こうした動きは各国のファンダメンタルズへの悪影響というよりも、**投資家のリスク回避姿勢の強まりが主たる要因**であるとみており、**市場心理の回復と共に落ち着きを取り戻す**と見込まれます。
- 6月のFOMC(米連邦公開市場委員会)では、3か月ぶりとなる政策金利の引き上げが決定されたほか、2018年の利上げ回数の見通しが、従来の計3回から4回へと引き上げられました。こうした動きは新興国市場にとって逆風となるものの、一方で**2019年以降の利上げペースは緩やかなものになるとみられている**ことから、新興国市場は引き続き、各国固有の状況に左右される可能性が高いと考えられます。
- 当ファンドは、各国固有の状況と世界的な投資テーマに焦点を当てながら、足元では比較的変動性の低い通貨を中心に運用を行なっています。そうした中、今年5月にかけて、新興国通貨が大幅に下落しました。これらの国々ではリスクの多くが既に具現化し、**通貨が割安な水準になったとみられる**ことから、今後はより値動きが大きく、反発が期待できる通貨の組入れを増やすことも視野に入れつつ、運用を行なって参ります。
- 中国の底堅い経済成長や堅調なコモディティ価格などに支えられ、**新興国の経済成長は中期的に堅調なものになるとの見方に変化はありません**。そうしたことから、当ファンドでは引き続き以下の条件を満たす通貨に注目し、積極的に投資機会を捉える方針です。

高い実質金利
(インフレ率を加味した利回り)

構造改革に裏打ちされた
長期的な成長可能性

世界の経済成長から
恩恵を享受

当資料は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンドクラスA」の運用会社である日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の見方あるいは考え方を記載したものであり、運用方針は変更される場合があります。また、将来の市場環境の変動や運用成果等を保証するものではありません。

※上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

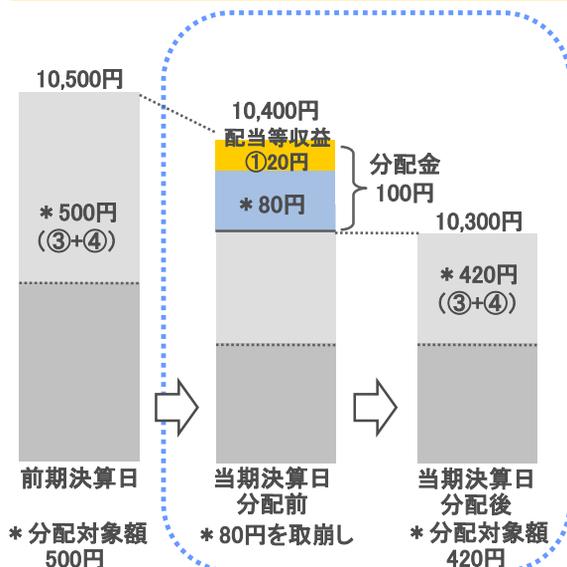
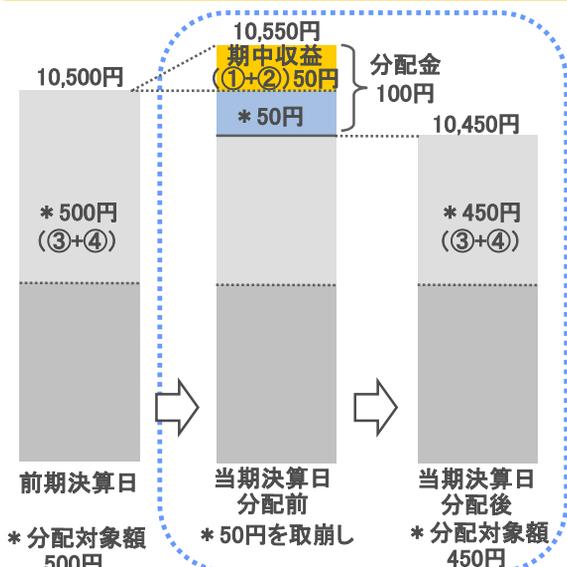


- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合

前期決算から基準価額が下落した場合

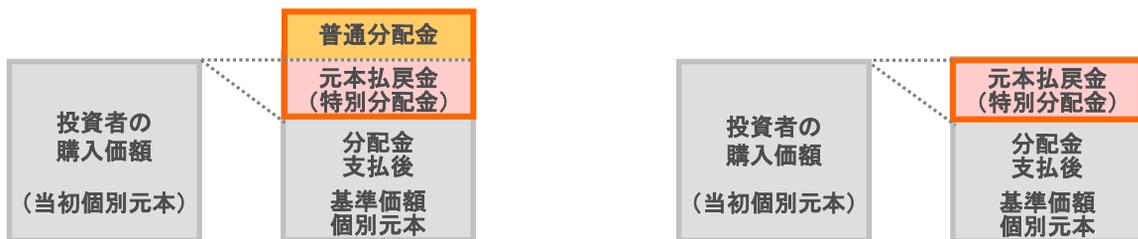


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
 ※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金 : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、(特別分配金) 元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

【お申込みメモ】

商品分類	追加型投信／海外／債券
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	無期限(2007年6月21日設定)
決算日	毎月12日(休業日の場合は翌営業日)
購入・換金 申込不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・英国証券取引所の休業日 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ロンドンの銀行休業日 ・ニューヨークの銀行休業日
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

【手数料等の概要】

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜申込時、換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料	購入時の基準価額に対し3.24%(税抜3%)以内 ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対し年率1.295%(税抜1.223%)程度が実質的な信託報酬となります。 信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率0.972%(税抜0.90%)、投資対象とするケイマン籍円建外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の組入れに係る信託報酬率が年率0.323%程度となります。 当該外国投資信託の信託報酬率は、純資産総額や為替相場によって変動します。それに伴ない、実質的な信託報酬率も変動します。
その他費用・ 手数料	目論見書などの作成・交付に係る費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※ 投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

【お申込みに際しての留意事項】

リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【為替変動リスク】【カントリー・リスク】【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様には帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

【委託会社、その他関係法人】

委託会社

日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会

受託会社

野村信託銀行株式会社

販売会社

販売会社については下記にお問い合わせください。
日興アセットマネジメント株式会社
〔ホームページ〕 <http://www.nikkoam.com/>
〔コールセンター〕 0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社青森銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第1号	○		
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第2号	○		
株式会社阿波銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第1号	○		
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○		
株式会社池田泉州銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第6号	○	○	
池田泉州T T証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○		
株式会社岩手銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第3号	○		
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○		
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第1号	○		
オーストラリア・アンド・ニュージーランド・バンキング・グループ・リミテッド(銀行)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第622号	○		
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	
株式会社きらぼし銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号	○	○	
クレディ・スイス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第66号	○	○	○
株式会社佐賀共栄銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第10号	○		
株式会社佐賀銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第1号	○	○	
株式会社四国銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第3号	○		
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第5号	○	○	
株式会社七十七銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第5号	○	○	
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第37号	○		
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○	○	
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号	○	○	
株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第6号	○		
株式会社常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○	○	
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第578号	○	○	○
株式会社第四銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第47号	○	○	
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○		
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○	○	
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第114号	○		
株式会社徳島銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第10号	○		
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○		○
株式会社長崎銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第11号	○		
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第6号	○	○	
西日本シティT T証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○		
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○	○	
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○
株式会社八十二銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第49号	○	○	
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号	○	○	
浜銀T T証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○		
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第10号	○	○	
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○		
株式会社百十四銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第5号	○	○	
株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第5号	○	○	
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○		
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第18号	○		
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第3号	○	○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○	○	○
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○	○	○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○	
株式会社南日本銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第8号	○		
株式会社宮崎銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第5号	○		
株式会社宮崎太陽銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第10号	○		
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○		
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第36号	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○

(50音順、当資料作成日現在)

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。